

令和3年度第1回東郷町総合教育会議 会議録

1 日 時

令和4年3月25日（金） 午後 3時15分 開会

午後 4時15分 閉会

2 場 所

いこまい館 多目的室B

3 出 席 者

町 長 井俣 憲治

教 育 長 中根 一郎

教育長職務代理者 小出 直美

委 員 石田 守良

委 員 加藤 逸男

4 欠席委員

委 員 奥谷 美香

5 事 務 局

企 画 部 長 : 加藤 久登

企画情報課長 : 木本 清彦

6 説明のため出席した職員の氏名

教 育 部 長 : 樋口 美紀

教 育 参 事 : 長谷川 光巨

学校教育課長 : 成田 敏弘

生涯学習課長 : 坂野 丈就

給食センター所長 : 中嶋 章人

7 傍聴者

なし

1 町長あいさつ

学校の現場におきましても皆様ご存じのように新型コロナウイルス感染症の影響で、先生方におかれましても子ども達にとっても大変大きい影響があった。

特に子供たちにとっては大切な1年1年の経験値というところを担保出来たかというところが大変大きな課題として考えなければならないところであったが、修学旅行等の学校行事については現場の先生方が本当に頑張っていたでき、無事、仲間と中学校時代の大切な思い出が作れたのではないか。

先生方も初めての経験で大変苦労されたかと思うので改めてお礼申し上げる。

現在新型コロナウイルス感染症の影響で学校に来られない子どもたちの数は十数人ということで、ようやくここまで落ち着いてきた。一時は60人くらいの子どもが来られなかったため、春中では学校閉鎖という措置も取らざるを得ない状況であった。

現在は少し落ち着いてきたが、新しい変異株も出てきており、慎重に対応していかなければいけないので、引き続き皆様方と学校の先生方と連携して、子どもたちをしっかりと育てていくということ力を強くやってまいりたい。

2 協議事項「第2次東郷町教育大綱に掲げる目標の取組状況について」

(資料:第2次東郷町教育大綱、1-1、1-2、2-1、2-2)【事務局説明】

【委員】

在校時間のところで、労働時間の尺度がどのような尺度にあるのか。

ある程度の時間管理というのは必要性が高い。今後、時間の尺度で無駄な時間を使わないことだと思っているので、無駄じゃない時間となっているのかということの議論が今まで以上にされていることが大切。

また、学力向上の学力とは何か。これも出来れば尺度化できるとよいと思う。

何らかの評価項目がなければ委員として見ようがないので、ある程度何かで示してもらえるとよい。

【町長】

何よりも大事なのは、「子どもたち一人一人に夢を抱き実現できるよう」というところに、キーワードがある。

学力の基準というのは大変難しいところだが、今年の1年生の2学期の期末テストの英語が226人中0~19点が67名、20~29点が32名の約100名。学習指導要領の変更があったということで、学年の半分の子どもが30点取れていない。

これはしっかりと学力の向上を目指しますと言ったことと相反するという話ではなく、このような子どもたちをどうやってフォローしていくのか、教育委員会の皆さまと情報の共有をしながら、見直すところは見直さなければならない。

義務教育の義務とは、ただ単に学校に通わせることではなく、中学校を卒業した時に社会でしっかり生きて行ける力を付けてやるのが、社会に、大人に、家庭に

課せられた義務であり、私たちが履行出来ているのかということを見つめ直さないといけない時期に来ているということを経験し、今後委員の皆さん、学校の先生方と連携を密にさせていただくと大変ありがたい。

参考までに、これは東郷町内の学校だけで起きている問題じゃないということをお願い添えさせていただく。

【委員】

職場環境が周りと比べてどうなのかということ議論して、できれば計画をきちんとこれだけは曲げないという流れがあると良い。

したがって、出来るだけ計画が遅れているところがあれば、そこは何とか追い付いてもらいたい。

【町長】

従前、学校施設を含めた公共施設の長寿命化整備計画があったが、財政計画のない計画であったため、絵に描いた餅のような計画だった。

この4年間で公共施設整備基金を9億円、借金の返済用に減債基金7億を積み増した。公共施設の整備だけでなく、新しい常識にも対応しなければならず全て使えるわけでないが今後はやる。

学校の現場において職場環境を整理して、その上で先生方の職場環境の乖離に対する改善が大変重要である。成果が先か、投資が先かの判断は難しい。

【委員】

一般的には「投資効果」と言い、投資なき物に成果はない。少し先行投資していただくと良い。

【委員】

私も職場の環境を良くするため、3S、5S活動を実施してきた。学校の環境を整えるのは行政や教育委員だと思うので、学力も必要だが、環境を整備してから学力が向上するのではないか。

【町長】

子どもたちが夢や希望に向かって一生懸命進んで行ける。夢を諦めないといけない環境だけは、大人として回避しなければならない。

行政や学校だけが全ての責任を負うというわけではないが、親の経済格差が子どもの学力格差にならないように考えていかなければいけない。

夢に向かえるということは原動力、成長力となるので、それぞれの立場でしっかりとフォローしていきたいので、協力をお願いする。

【委員】

コミュニティスクールが東郷町で始まっていくが、先生以外の大人との交流というので、違う大人の話の聴いて夢を持つことが良い。

以前見た長寿命化計画と現状ではあまりにもかけ離れてしまった状況なので、予算と様々な状況を考えたうえで計画を出していただきたい。

学校は避難所になる場所だが、体育館の整備は遅れている。

学校の教室やトイレの改修は進みつつあるが、体育館のガラス飛散防止等、学校としての整備と防災に関する整備も考えながら改修を考えていただきたい。

【町長】

私が就任して全特別教室、普通教室にエアコン設置をしたが、特別教室は災害時の対応という趣旨で入れ全部で約9億円かかった。体育館を9校付けると約10億円かかる。

東郷町では、3年間の計画である実施計画を作っていて、その3年間の投資的経費が約10億円。9億を使うと他の福祉を含めて何も出来ないということになるので、起債等を上手に使いながら計画的にやっていかなければならない。

要るか要らないかで言ったら、要ると思う。

【委員】

まずはトイレ改修くらいからやるとよい。

【町長】

トイレ改修は必要と思っているが、100%洋式化をやるうとは思っていない。

【委員】

体育館のトイレは夜間開放で一般の方も使われる。

【町長】

学校は子どもたちが学ぶ場所である。

学校以外のパブリックなところで地下鉄、駅、空港には一定程度和式のトイレがある。子どもたちが和式のトイレを日常で見ることがほぼなくなっている。

【委員】

個人的には、一定数の和式トイレは有ってもよいと思っている。座るのがイヤな子もいる。やらなくていい訳でなく、順番にやっていけばよい。

ただ、やめていい仕事で何があるのかよく探してほしいことと、1つ1つの効率を上げるための議論がされているのかを教えてもらえればよい。

【町長】

昭和の頃に建てた躯体を活かすか、それとも作り直すかを念頭に置いて長寿命化と改築を判断しなくてはいけない。

少しずつ修繕していくことより一度大きく投資をすることで、しばらく大きな修繕費が掛からないということもあるので、最大のリターンを取るために複合的に考えることが必要。

出来る投資額は一緒なのでリターンは大きく取りたい。リターンとは、先生方の職場環境や、子どもたちの学びの環境や成果だが、年度によって格差の生まれたいようやっていきたい。

1点教えてほしい。残業時間について学校毎に偏りがあるのは、学校のマネジメントの問題なのか、子ども数の人数の問題なのか。

先生方の働き方を良くしていこうという時に、数字だけで見るのではなく、何が原因なのかしっかりとした追究をしていかないと改善の手が打ちにくくなる。

教育部局の方で打てる手が何なのか、ICT化、RPA等で改善できるのか、学校毎で特徴があるのかもしれないが、何か出していただけると改善しやすくなる。

また、先生方にはパソコンの画面でなく、子どもたちを見る時間を増やしていただければありがたい。

子どもたちが一番大切ということで、色々ご教授いただきながら、いい環境でいい成果を作っていくことが大事。

【教育長】

在校時間の関係は十分に把握をしなければならないと思っている。

それぞれの学校の地域性もあると思うが、個別にどのような要因があるのかは調査したい。今後、令和3年度末と令和4年度当初で調べる。

【町長】

私共の職員は申請して残業すると残業した時間に対して対価が支払われるが、学校の先生は20時間程度が上限となっており、これが適切なのかと従前より思っている。

お金で解消できる話とは思っていないが、市町村会、首長会を通じて、関係機関、県、文科省に実労働時間についてサービス残業のないように訴えていきたい。